

jcのほのぼによん会話

V系&苺

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

中学生（私達の日常）の会話です！

フィクションはありません！ちよつとしかw

普段の、意味不明な会話やいろいろと痛い人達が出てきます！w

何がしたいんだろう？と言う（良く言えば）個性的な人達です！（悪く言えばバカですwまあ、うちらですけどw）

ほのぼのよんと見守っていてください。

初投稿です。

感想や評価お願いします！

目次

朝	1
部活。脱走。茶番劇。	4
中二病（笑） 給食前	6
名言（笑） 帰りのHR	9
オカマwうるせえ。 体育	11
企画！（？）マジメに答えたらダメ！	15

朝

この、会話には、ちよつとフィクションが入ってます。(ほんとにちよつとだけ)

V系↓女 苺↓女 オカマW↓男

V系「おはよー。苺!」

苺「おはよー!」

オカマW「おはよー!」

V系「あ。おはよ」

苺「おはよ。」

オカマW「えっ、なに!? テンション低くない?」

V系「あー。そーだね。」

苺「あはは」

オカマW「ま。いいやー。あとでー!」

V系「。。。うん」

苺。V系(いや。「あとでー!」じゃないし。来なくていいよ。)

苺。うなづく

V系「そーいえばさ! 今日の5時間目、修学旅行の話って言ったよね!!」

苺「あつ! そつか!! わー。なんだろー! 楽しみー!」

V系「なー! 楽しみー! あつ! 民宿の班決めじゃね?」

苺「そーいえば! そーだね! 一緒の班なろーね!」

V系「もつちーろん! そーいえば民宿つてさ! 体験的なことできるらしいよー!」

苺「ふっふっふ。もう決めてるよー! えつとねー。このガラスのやつとか楽しそうじゃない!」

V系「あつ! ほんとだー! 楽しそー! このガラスつてちよー綺麗にできるやつじゃん!」

苺「そーだよー! この辺りじゃあんまり体験出来ないやつだからね! レアだよ!! レア!」

v系「たしかにー！この辺りじゃ見ないもんねー！わー！楽しみー！！」

苺「ねー！ちよー楽しみ！」

v系「うん！あとねー」

オカマw「んん？なんの話かな!？」

v系「わあああ!!いきなり来んな！ビックリするだろ。」

オカマw「え。ひどーいwねえー、苺？ひどくない?」

苺「え。ああwいやー。いきなりくるほーが悪いよ。w」

オカマw「えー。苺までひどくない?」

v系。苺。首を傾げるw

v系。苺。「う。うん」

オカマw「ま。いやーw修学旅行のさー。自由行動の班どーする?今、修学旅行の話してたでしょー!ぼくも、まぜてよー!自由行動の時ね一緒に行ききたいところがあつてね!えーと。。。どこだっけなw」

v系。苺。(思い出さなくていいよ。)

オカマw「あ。そうそう。この水族館に行きたいんだよね!ちよつと遠いけど自由時間使えば行けるよー!」

v系。苺。「え?」

v系。苺。(何かつてに決めてんの?え?こちらは、アニ○イトに行きたいんだよー)

オカマw「どう!?いいでしょー!」

v系。苺。(よくねーよ!)

オカマw「あとねー。民宿でね!ここの体験にしたら、一緒にできるよー!」

v系。苺。(いやいや。なに言ってるの?え?バカなの?てか、一緒にしたくねーよ!!)

v系「いやいや。なに言ってるの?」

苺「何言ってるの?」

オカマw「まあまあ。で?どう?!この。たいー

キーンコーンカーンコーンキーンコーンカーン

V系「あつ！チャイムなつたぞー教室に入ろー！（棒読み）」
母「うんー。そーだね！（棒読み）」

オカマW「あー

V系。母。（いいタイミングだったよチャイム！ナイス！）

部活。脱走。茶番劇。

ある日の部活にその出来事が起こった。

v系「よし。トランシ○バー(ダンボール)を手に入れたぞ。」

苺「やつと、この世界から抜けられる。」

v系「ああ。あとちよつとの辛抱だ。時が来るまで待つんだ。」

苺「うん。。。。。」

v系「もしもし。こちらーv系。応答願う」

苺「聞こえました。あーあー。こちら。苺。」

v系「あーあー。こちらv系。障害物は、斜め後ろの机にいる。」

苺「こちら、苺。チャンスは、いまですな。」

v系「こちら。v系。ああ。そうだ。これから、任務を遂行する。」

苺「あーあー。こちら、苺。イエツサー!りよーかい!」

v系。苺。「3。2。1ー」

v系「走れ!苺!」

苺「うん!」

私達は。その長い廊下を蹴るように一生懸命走った。

だっだっだっだっ。たったったっ。。。。。。

やつから。逃げ切る為に。。。。

早く早く。逃げなきゃ。やつがくる。。。。。

障害物(顧問)「あーちよつと。待ちなさい!」

苺「障害物が追いかけてくるぞ!ww」

v系「にげろー!!w」

苺。v系。「わーーーーー!ww」

v系「よし!玄関だ!はやく靴をー

苺「きゃー!」

障害物(顧問)「はい!待ちなさい!」

v系「ああああ!苺!ww」

障害物(顧問)「なに、してるんですか。はやく、部室に戻りなさい。」

苺。v系。「えーーーーー!」

障害物(顧問)「えー。じゃない。はいはい。はやく部室に行きま

しよう。」

v系「え。あ、あの。あつmkdwr!あつ!えつと。。これから。苺と用事があるんですよ!!そう!用事が!あるんです!」

障害物(顧問)「なんの?」

v系「えwくあwせdrfgtつh。。。。あー!!!買い物です!

はい!!買い物!」

障害物(顧問)「ほんとですか?」

v系「ほ。ほh。ほ。ほんとです。。。。。」

苺「v系。。もういいよ、あきらめよう。。。」

v系「だって。無事に帰るって言ったじゃないか!」

苺「もう。いんだ。v系。。。」

障害物(顧問)「茶番は、いいから部室にもどりますよ。無事に帰るって。部活なんですから、帰ったらダメです!」

v系「こんな事になったのは。あ。え。先生が悪いですよ!!」

障害物(顧問)「いやいや。先生は、何も悪くないです。w」

v系「せ。先生のせいです!!」

障害物(顧問)「先生、関係ないですから。」

v系「くっ!!」

障害物(顧問)「はいはい。部室帰りますよー。」

苺。v系。時計を見る。(あ。あと5分で部活終わるなww計画どおりだwwニヤリw)

中二病（笑） 給食前

中二病。乙。「俺、一万円札に載るわw」

v系。苺。（は？）

v系「何で？」

中二病。乙。「裏の闇世界を使つてだなー

苺「ああ！わかった。あれでしょ。裏の世界で偽札を作って、その一万円札に自分が載ると。そーゆーことかw」

中二病。乙。「いやいや。違うよ。ちゃんとー

v系「なるほど。その手があつたかwでも、その偽札使った瞬間バレるよw」

苺「あれだよ。裏の世界⇨偽札。闇の世界⇨牢屋！でしょ！」

v系「なるほど。（笑）じゃあ、中二病。乙。は捕まりたいのか！なるほど！」

苺「そーゆーことだね！（笑）」

中二病。乙。「そーゆーことだねじゃねーよ！ぶっとばすぞ。」

v系。苺。「あー。怖い怖い（棒読みw）」

不審者。「怖い怖いw」

v系。苺。「あれ!?不審者!?いつからいたの!?!」

不審者。「最初からw」

v系（きずかねーよw）

苺（え。うそw）

中二病。乙。（俺は、ずっときずいてたぞ。わずかな気配を感じていたんだ。）

v系「あつ。話し変わるけど中二病。乙。ってさーツープロックだよね。」

中二病。乙。「ああ。刈り上げてる所に模様入れてえなあー」

v系「ああー。いいなあー！うちもツープロックしてえよー！」

苺「すればいいじゃん！似合うよ！かっこいいし！ショートだし！」

v系「今度、しよーかなwするんなら、模様入れたいなー。」

中二病。乙。「模様に鬼！って入れたいな。」

v系。苺。不審者。「う、ん」

中二病。乙。「で、眼帯とかしたいな」

v系。苺。不振者。「そ。そうかw」

中二病。乙。「眼帯に鬼！ってかきたいな。鬼が封印されている、眼帯とか。」

v系。苺。（鬼尽くしだね！うん！）

不審者。（中二病。乙。なら、やるかもしれないな、うんw）

中二病乙。指にトレットペーパーを巻いている

v系「えつと。。。どこからツツコもうかな。うん。」

苺「まず。何してるの?」

中二病。乙。「闇の力を封印している。」

v系。苺。不審者。（大丈夫かな?この人?）

v系「えつと、今さら封印するのよ!」

中二病。乙。「この、闇の刻印はお前らの様な一般人には見えないからー

イチゴ「えつと。質問。刻印ちっちゃくない?!」

中二病。乙。「まつまあ、いんだよそんなことは、きにすんなって

(笑)」

不審者。「トレットペーパーで封印していいのか? (笑)」

中二病。乙。「本当は、ちゃんとした包帯がほしんだよー」

v系。苺。「あつ!!じゃあ、保健室行ってくればいいよ (笑)」

苺「指がうずくんです。封印のため、至急包帯をください!とか、言ってみw」

v系「おお!いいねそれw」

苺。v系。不審者。「あつ。保健室は、あつちだよw」

中二病。乙。「知つとるわ!w」

v系「てか、もうすぐ給食だから、はやく行こー」

キーンコーンカーンコーンキーンコーンカンコーンー

苺「やば!チャイムなったじゃん!早く!」

v系「おう!」

な。)
莓。 V系。(中二病。乙。大丈夫かな？アウトなところ行ってよ

名言（笑） 帰りのHR

名言ゆう人（担任）「残念な知らせがある。」

V系。 苺。（えっ!?!また誰かノイローゼでもなったのかな?!）

名言ゆう人（担任）「まあ、残念ってほどの話じゃないが、

V系。 苺。（どっちだよ!）

名言ゆう人（担任）「朝みんなが生活ノートを提出してくれるが、その中でヤバイ!勉強してない!って書いてる人が多いんだよな。」

V系。 苺。（うん。）

名言ゆう人（担任）「正直に言うが、そいつはヤバイと思ってない!」

V系。 苺。（思ってるよ!）

名言ゆう人（担任）「そう、あれは俺が会社に勤めていた時。。」

V系。 苺。（なんか、モノローグはじまったし!絶対長いよこれ。）

名言ゆう人（担任）「俺は仕事に追われていたんだ。「ヤバイ!どーしよ!間に合わないかもしれない。」そこに上司がきて「ヤバイヤバイ!言ってる暇があったら、行動にうつせ!ヤバイと思ってないから、やばいって言えるんだろう」って言われたんだ。」

V系。 苺。（あ。そう。いやいや、どーでもいいよ!）

名言ゆう人（担任）「もし、お前らが川で溺れたらー」

V系。 苺。（まず、溺れねーよ!そんなところ行かねーよ!）

名言ゆう人（担任）「もし、溺れたらヤバいって思う前に岸にたどり着こうとするだろ?!」

V系。 苺。（ヤバいと思うよ!うん!）

名言ゆう人（担任）「部活だってそうだ。ヤバイ!練習しないと!試合がある!って思ったらすぐ行動するだろ!?!」

V系。 苺。（けつきよく、ヤバいって思うのかよ!矛盾してるぞw）

名言ゆう人（担任）「試合。作品。演奏。古典ー」

V系。 苺。（古典!?!えっ。そこで古典!?!）

名言ゆう人（担任）「あ。古典じゃねーや。」

V系。 苺。（だよね!うん）

名言ゆう人（担任）「まず。ヤバいと思うんなら行動にうつせ!ヤバ

いつ言うのはそれからだ！」ドヤツ

V系。苺。(やつと終わったか。てか、ドヤ顔さえれても困るんだけど。言っちゃだめだけど。キモい。おっさんのドヤ顔見てもなあ。キモいって感想しか出てこないんだよな。)

名言ゆう人(担任)「まあ。明後日から、テストだからしつかり勉強しろよ！終わり！」

学級委員(1)「きりーつ。礼。」

V系「やつと終わったなー」

苺「ねー。長かった。」

オカマW「バイバイ！」

V系「お、おう」

苺「ばいばーい」

V系「まじ。やつと帰れるしー！」

苺「今日、何する？」

V系「んー。何しよーかなー。」

苺「いつも通りマイン○ラフトでもする？」

V系「そーやな！うん」

苺「じゃあ、早く帰ろー！」

V系「おう！」

V系。苺。(やつぱり、あのドヤ顔はキモかったなー)

オカマwうるせえ。

体育

名言をゆう人（担任）「今日の体育は、男女混合で選択授業だ。」

v系。苺。（選択授業!!?なんで!?)

名言をゆう人（担任）「バトミントン。バスケット。フットサル。の中で自分がしたいのを選んでしてください!」

v系。苺。（やったああああ!!!）

v系（よし!苺一緒にするぞー!）

苺（もちろん!なににする?）

不審者（なにお前らナチュラルにテレパシーしてんだよw）

v系（お前もなw）

名言ゆう人（担任）「それじゃあ。自由にはじめていいぞ!」

v系「苺!なににする?」

苺「バトミントンしたいけど遊び班達がたかっているからむりだねー」

v系「フットサルは、論外だしバスケットするか」

苺「そーだねwあつ。オカマwと不審者もバスケットしてるー!まぜてもらおう!」

v系「おっけー!いこー!」

v系「あつ!ボール持っていけないとw」

苺「忘れてたw」

v系「これ空気ねえしw」

苺「あ。これもだw空気ちゃんといれとけよーw」

「(これいい感じー!」

v系「お。ちゃんとしたのあったw」

「よし!行くか。」

苺「うん!」

v系「おお。不審者!うちらもバスケット一緒にやるー!」

苺「やるー!」

オカマw「やるやる〜!」

不審者「別にいいよ。」

苺「まあ。シュート練習からしよー!」

v系「おー!」

ー練習ー

苺「ほいつ!」

「あー。はいらないー!」

v系「よっ。」

「あー!。おいしいー」

オカマw「んー。よいしよー!」

「んあー!はいらないー!」

不審者「ほっ。」

ーシュー

v系。苺。オカマ。「あ……。」

v系。苺。オカマw。(あああああ!こいつ決めやがった!!)

ー約5分後ー

苺「よーし!ミニゲームしますか?」

v系「男子対女子でしたい!」

オカマw「おっけー」

ーミニゲーム開始!ー

v系「苺パス!」

苺「わっ!」

v系「よし!シュートしろー」

オカマw「いやーいやー」

v系(オカマwうるせえ)

苺「オカマwじゃまー」

オカマw「いやーいやー」

苺「おりゃ!」

ーゴンツー

苺「あああ!おっしいー」

不審者なにげにボールを取っている

v系「あれ?ボールは?」

不審者「ん?ここ。ここ。w」

v系「ああああ！おまえっいつのまに！」
不審者素早いドリブルでうちらをかわず
ーシユー
オカマw「やっつたー！」
v系。苺。(おまえ、何にもしてないだろ。)
苺「わー。男子のほーが絶対有利だし！」
v系「3対1でやろーw」
苺「不審者対うちら3人でいっか！」
オカマw「えー。ぼく休んどくー。」
v系「あーい。」
不審者「え。ぼく1人!？」
v系「うん。」
不審者「えっー
v系「じゃあ時間ないから始めるよー！」
ーミニゲーム開始!ー
苺「v系パス！」
v系「あーいー
不審者に取られる
苺。v系。「あっ！」
不審者ーシユー
苺。v系。「あああああ!!」
不審者「シヨツボツ!w」
v系「うっぎ!!w」
苺「はい!次！」
v系「へい！」
苺「おしゃ！」
ーシユー
苺「やっつたー！」
v系「よっつしやー！」
キーンコーンカーンコーンーキーンコーンカーンコーンー
オカマw「同点かよw」

V系「同点かー。」

母「おしかったねー。」

V系「おし！着替えにいくかー。」

母「うん！」

母。V系。（不審者意外と強かったな。意外と。）

企画！（？）マジメに答えたらダメ！

えっと。まずですね。なんと！今日はいいいネタが（面白い会話）がありませんでした！すいません！

なので、企画を立てました！まあ。大したことではないんですがw
今回、イツメンの方にアンケートをしてもらいました！（がちですw）

題名はへ真面目に答えたらダメ！〜と言うのですw

はい！さっそくいきましょう！面白い答えをまっってますよw
まず最初は苺から！

- 1。誕生日。 ない
 - 2。好きな食べ物。 苺
 - 3。好きなこと。 寝ること
 - 4。嫌いなこと。 お勉強
 - 5。好きな色。 ピンク
 - 6。何歳？。 永遠の14歳の
 - 7。将来の夢。 魔法少女
 - 8。好きなブランド。 マジカルベリー（そんなのないw）
 - 9。好きなキャラ。 マイ○ロ
 - 10。今一番したい事。 苺を食べる
- はい！と言う結果に（？）なりました！
最後に真面目なプロフィール出しますw
次はうち（v系）ですwなんて答えようかな。。。

- 1。誕生日。 えっと、黒歴史ですw
- 2。好きな食べ物。 タメイゴ
- 3。好きなこと。 ニートになること
- 4。嫌いなこと。 めんどくさいこと
- 5。好きな色。 黒
- 6。何歳？。 はやく18歳になりたい
- 7。将来の夢。 自由気まま

8. 好きなブランド。 いろいろ
9. 好きなキャラ。 ステ○ツチ
10. 今一番したいこと。 面白い話が見たい
はい！割と適当かも知れませんが
まあ。メインキャラのプロフ（笑）はこんな感じかな？w
まだ結構文字余ってるしサブ（ザゴ。脇役。イツメン）たちの面白いプロフも紹介しましょうw
へえつと、まずは不審者からどうぞ！

1. 誕生日。 えー
2. 好きな食べ物。 シュークリームのみとデザート入り
3. 好きなこと。 特になし
4. 嫌いなこと。 笑顔
5. 何歳？ えー

へはい！次。中二病。乙。<

1. 誕生日。 328月123日
2. 好きなこと。 ファーwwww
3. 好きな色。 レットグリーンパープル
4. 何歳？ 20000歳
5. 今一番したいこと。 うー（ああ。汚いから止めようか

w)

へはい！次！オカマw（サクサク進むねw）<

1. 誕生日。 14:25分
2. 好きな食べ物。 ラーメン
3. 好きなこと。 勉強
4. 嫌いなこと。 キモいこと
5. 何歳？ 124歳

へはい！つぎwマジメ（笑）姉。<

1. 誕生日。 13月31日
2. 好きな食べ物。 携帯
3. 好きなこと。 動画あさり
4. 嫌いなこと。 あさ、v系と一緒に学校に行くこと

5。何歳？ 2，191歳

はい！（やつと終わったw）同じことばっかり打つてると疲れます
なww

ちよつと最後に色々ツツコミたい！です！はい！

まず。中二病。乙。「フアーアーwwww」ってなんだよ！適当すぎる
るだろ！

あと。汚い言葉を書くなー！見たときちよつとビックリしたわ！

w

おい。姉！携帯つて食べ物じゃないよね？

マジメ（笑）姉「た。食べ物だよw」

v系「出てくんない！てか、食べ物じゃないだろw食べれるんなら今
食べてみろや！w」

って。動画あさりつてまちじゃねえかよ！いっつもしてるだろw

はい！つてところで一時中断w

まじのプロフは次に書くねw